～環境保全活動へ参加～「日本の森を守る地方銀行有志の会」へ入会

琉球銀行は、昨年7月に「チームマイナス6%」（京都議定書目標達成のためのアクションプラン）に参加したことに続き、2009年3月、美しい健全な森林を引き継いでいく活動を推進する「日本の森を守る地方銀行有志の会」へ県内地銀で初めて入会しました。

「日本の森を守る地方銀行有志の会」は各地方銀行が個別に実施している森林保護活動を業界内でさらに活性化させ、将来的には業界の垣根を越えて日本各地の森林を充実させることを最終目的に2008年7月に発足しました。

当面の活動は銀行間の情報交換会議を定期的に開催し、交換した情報やノウハウを各行の活動に反映させ、森づくり活動のさらなる活性化へつなげることです。将来的には環境関連の金融商品の研究も進める予定です。

沖縄本島北部のやんばる地方は世界でも有数の貴重生物の森であり、ヤンバルクイナやヤンバルテナガコガネなど、地球上でここにしかいない生物も多く、自然環境の保全が求められています。

琉球銀行は、「日本の森を守る地方銀行有志の会」で交換した情報やノウハウを活用し、沖縄県の自然環境の保全や持続的な発展につなげていくことを目指します。

「エコ定期 地球の未来（ほし）」発売における排出権の無償譲渡を実施

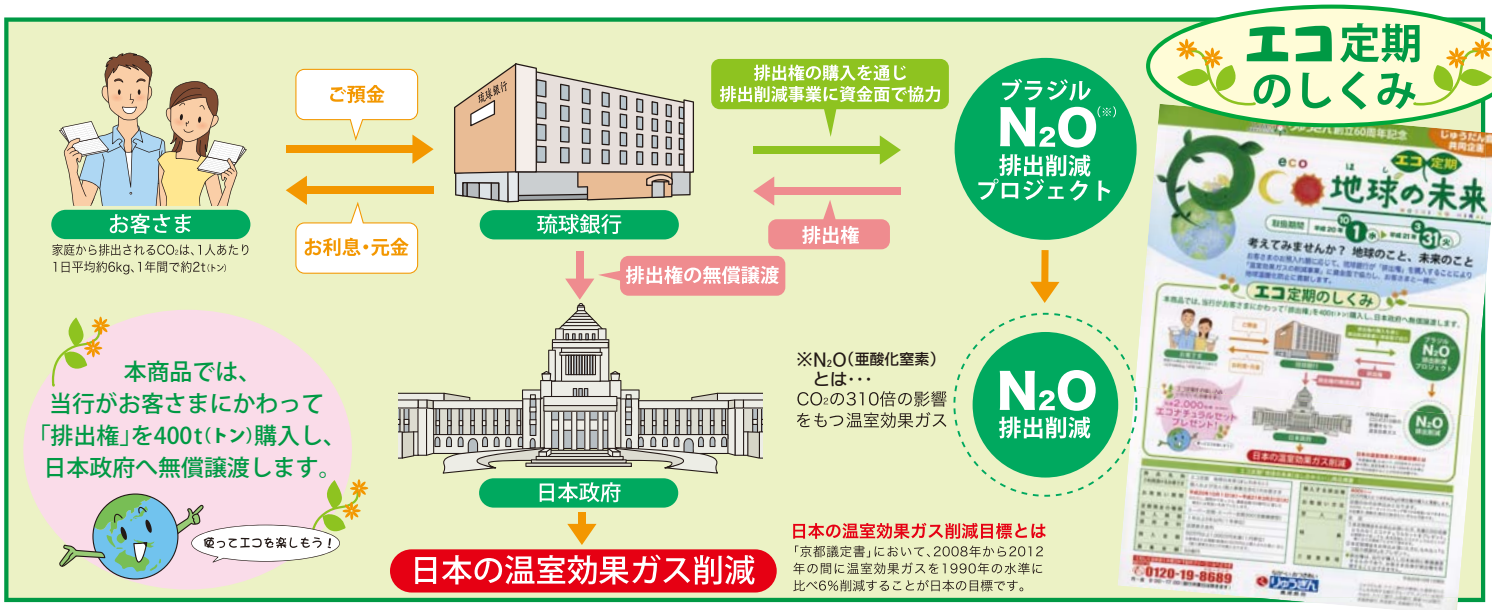
琉球銀行は、2008年10月1日から2009年3月31日までの期間、銀行の本来業務を通じた環境活動の一環として、カーボンオフセット定期預金「エコ定期　地球の未来」を販売しました。期間中、当行の地球温暖化防止活動に対し多くの方々のご賛同を得て、約10億円のお預け入れをいただき、当行は預入額に応じて排出権400トン※を購入しました。

そして、当行は取得した排出権400トンを2009年3月31日に日本政府へ無償譲渡しました。

※排出権400トンは、1年間に家庭から排出される一人当たりの二酸化炭素量190人分に相当します。

参考　排出権

国や企業において、自ら排出した二酸化炭素（CO_2）、亜酸化窒素（N_2O）などの温室効果ガスの埋め合わせができる権利で、京都議定書では発展途上国での温室効果ガス削減事業による排出量削減分を排出権として、先進国に販売・移転することを認めています。先進国は排出権を自国の削減目標達成に利用でき、発展途上国では先進国の省エネ技術により、持続的な温室効果ガス削減が実現します。



今年も開催 りゅうぎんキッズスクール

琉球銀行は、今年も県内の小学校6年生を対象に第7回「りゅうぎんキッズスクール」を開催します。

「りゅうぎんキッズスクール」は子どもたちがゲームを通して、経済の仕組みやお金の流れ、銀行の仕組みを楽しく学習し、適切な金融知識を身に付けることを目的に開催するもので、夏休みの「自由研究」の材料としても活用いただけます。

昨年は、沖縄県立博物館・美術館で4日間開催し、263名の小学6年生が参加しました。

参加者からは、「難しかったけど楽しかった。友達にも紹介したい」「お金の流れに興味をもった」「銀行の仕組みがわかったような気がする」など多くの感想をいただきました。

なお、今年の「りゅうぎんキッズスクール」の募集開始は7月初旬を予定しており、多くの小学生の参加をお待ちしています。

りゅうぎんでは、このような活動を通して地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行を目指していきます。